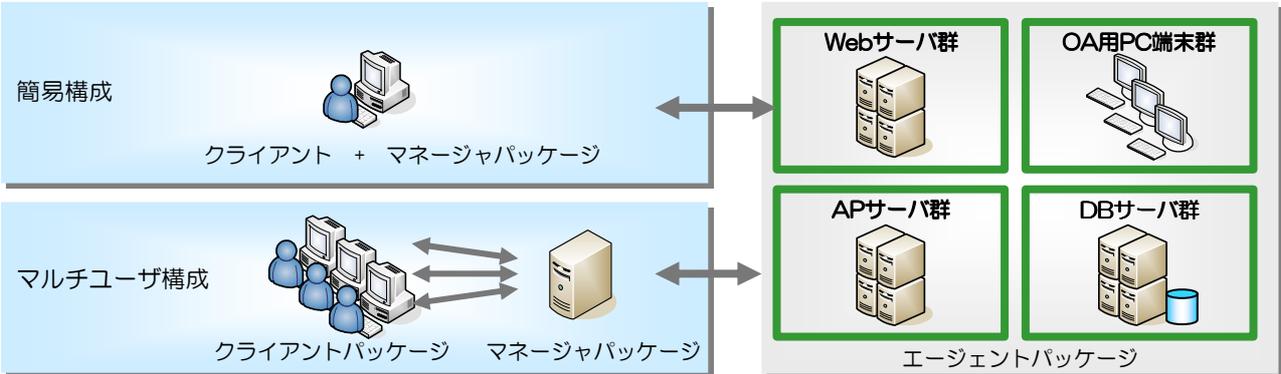


Hinemosの導入形態

- インストールパッケージは、クライアント用・マネージャ用・エージェント用で構成されます。
- クライアントとマネージャのインストール構成を変えることで、利用環境に応じた構成をとることが可能です。



パッケージの内容および提供機能

- クライアントパッケージ
運用管理業務におけるコンソールを提供します。
運用管理に必要な情報をグラフィカルに表示します。
- マネージャパッケージ
クライアントから入力されたオペレーションに従って運用管理機能を提供します。
各種定義情報・結果情報の保持や、監視対象のコンピュータを制御します。
- エージェントパッケージ
管理対象であるコンピュータをマネージャから運用管理します。

動作確認済みOS

- | | | |
|--|-------------------------------|---|
| ■ クライアント | ■ マネージャ | ■ エージェント |
| Red Hat Enterprise Linux AS 4
WindowsXP | Red Hat Enterprise Linux AS 4 | Red Hat Enterprise Linux AS 4
Windows Server 2003 (一部機能制限あり) |

ハードウェア推奨スペック

- | | | |
|---|--|--|
| ■ クライアント | ■ マネージャ | ■ エージェント |
| CPU : Pentium 4 2.80GHz以上
メモリ : 1GB以上
HDD : 72GB以上
ディスプレイ解像度 : 1280×1024以上 | CPU : Xeon 2.4GHz以上
メモリ : 2GB以上
HDD : 72GB以上 | CPU : Intel系CPU (PentiumⅢ以上)
メモリ : 1GB以上
HDD : 8GB以上 |

提供サービス

- Hinemos導入コンサルテーション・設計支援
お客様のシステムにHinemosを導入するにあたり、ジョブ管理や監視管理の実現および導入方法といった、事前検討・導入手順策定・システム設計支援など、Hinemosのプロフェッショナルコンサルテーションサービスを提供いたします。
- Hinemos保守サポートサービス
問い合わせ対応、障害対応、バグフィックスパッチ提供など、お客様に安心してHinemosをご利用いただけますよう、保守サポートサービスを提供いたします。

本ソフトウェアおよびサービスに関するお問い合わせ先

株式会社NTTデータ
基盤システム事業本部
オープンソース開発センタ
TEL: 0120-021-979 FAX: 03-3532-0925
E-mail: osdquery@nttdata.co.jp
<http://www.nttdata.co.jp/services/hinemos/>
<http://sourceforge.jp/projects/hinemos/>

Hinemosは独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の2004年度オープンソフトウェア活用基盤整備事業の委託を受け、開発テーマ名「分散ファシリティ統合マネージャの開発」にて開発しました。
<http://www.ipa.go.jp/software/open/2004/result.html>

※ Hinemos®は、(株)NTTデータの登録商標です。
※ Linuxは Linus Torvalds氏、米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。その他の会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

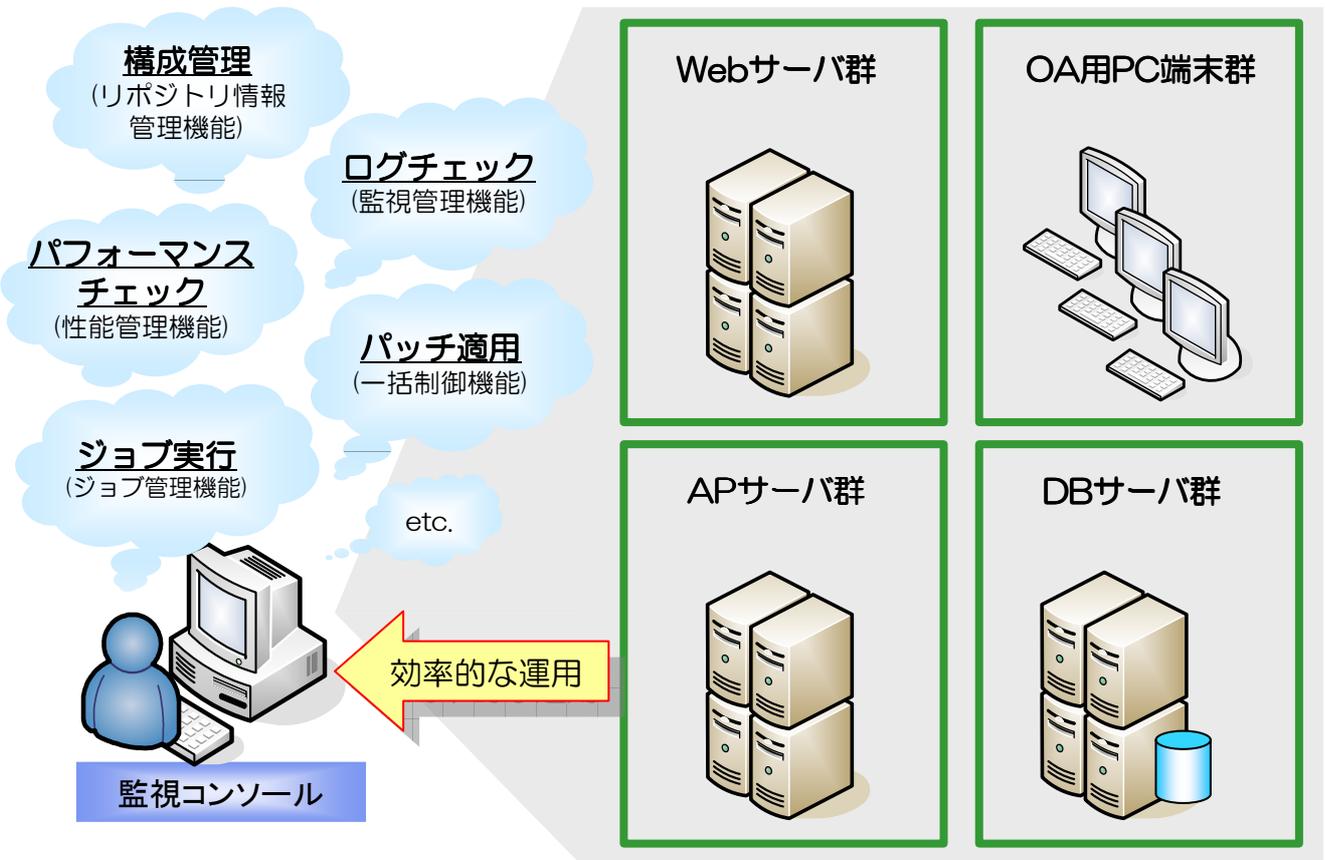
Hinemos[®] Ver. 2.1



コンピュータ群の一元的な運用管理はHinemos[®]におまかせ

今日のエンタープライズシステムにおいて、コストパフォーマンスの高いオープンソースソフトウェアの利用は必要不可欠です。しかし、既存オープンソースソフトウェアでは、統合的な運用管理に必要な機能や連携が十分とはいえませんでした。

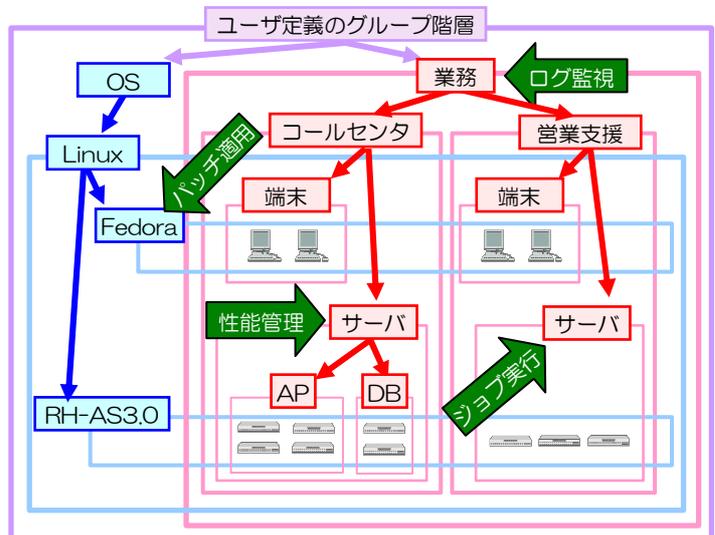
Hinemos[®]は、複数のコンピュータを単一のコンピュータのイメージで運用管理することを実現するオープンソースソフトウェアです。ユーザが運用目的に応じた監視や操作をGUIで容易に行う環境を提供します。



Hinemosの特長

Hinemosは以下を特長とする運用管理のオープンソースソフトウェアです。

- 管理対象となるコンピュータに関する情報を「リポジトリ」という形で集中管理しています。
- 用途に応じたグループ階層を構築し、管理対象(ノード)を複数のグループに登録することができます。
- グループ単位でパフォーマンスチェックやジョブなどを表示・実行することができます。



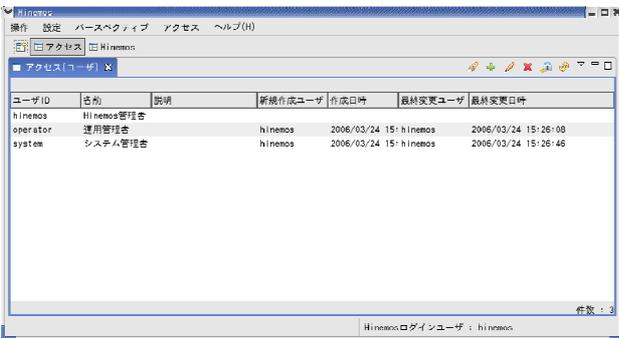
Hinemosの機能

アクセス機能

Hinemosでは、ユーザごとにHinemosの各機能に対する権限を設定することができます。設定できる権限は以下の通りです。

- 参照権限・・・情報の表示を行うことができます。
- 設定権限・・・設定情報を追加・変更することができます。
- 実行権限・・・操作を実行することができます。

本機能により、監視対象に大きな影響を及ぼす可能性のある機能の設定および実行権限を特定の運用管理者のみに制限し、他のユーザは参照権限のみ与えるなど、ユーザ権限をきめ細かく設定することができます。



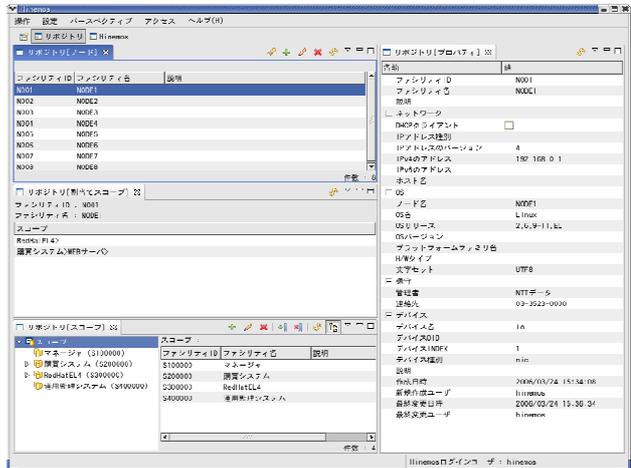
アクセス機能画面

リポトリ情報管理機能

Hinemosでは、管理対象となるコンピュータに関する情報を「リポトリ」という形で集中管理しています。このように、リポトリ情報管理機能は、Hinemos全機能で共通に利用する基盤機能であり、Hinemosで実現する性能管理機能やジョブ管理機能など各種機能が共通で使用される、グループ（利用者が目的に応じて定めたノードの組み合わせ）・ノードの構成情報を管理するマスタ管理機能です。一つのノードを複数のグループに登録することが可能ですので、ハードウェアスペックの観点や業務システムの観点など、異なる観点から作成したグループに、同一ノードを登録できます。

リポトリ情報管理機能では、コンピュータ群の構成情報から資産管理情報まで様々な情報を登録可能です。さらにその情報をグループ化・階層化して管理することが可能です。またリポトリ情報管理機能で登録したグループ・ノード構成は、Hinemosの各種機能で処理を実行する際のデータベースとして利用されます。例えばセキュリティパッチを一括で適用したい場合、実行対象をグループ単位で指定することで、指定したグループに属する全てのノードに対して一括適用することができます（後述の一括制御機能）。

このように本機能により、作業対象ノードの抽出作業の省力化、同一操作の削減、グループ単位での情報表示、人的ミスの回避、運用コスト・リスクの削減などが期待できます。



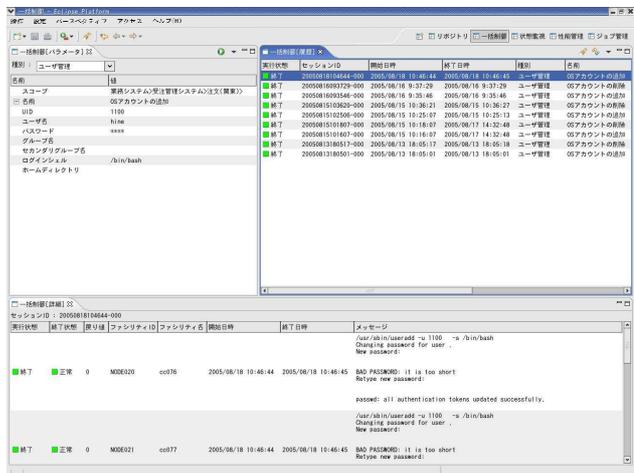
リポトリ情報管理機能画面

一括制御機能

Hinemosでは、処理対象となるグループを指定することで、そのグループに属する複数のノードに対して一括して同一処理を実行することができます。

一括制御機能により、パッチの適用(RPM)、ノードの停止・再起動、ディレクトリの作成、ファイル/ディレクトリの削除、OSアカウントの追加・変更・削除、アプリケーションの起動・停止、実行コマンドの編集などをGUI操作で、容易に実行することができます。

本機能により同一操作回数の削減を行うことができ、結果として作業時間の短縮、作業ミスの低減などによる効率化を図ることができます。

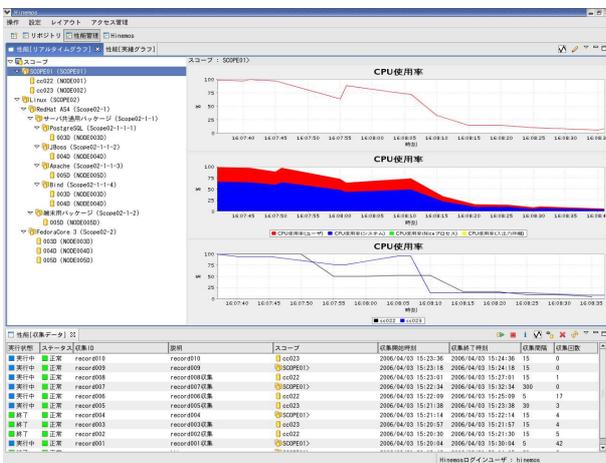


一括制御情報管理機能画面

性能管理機能

Hinemosでは、CPU・メモリ・ディスク・ネットワークのリソース情報を、グループまたはノード単位で管理することができます。性能管理機能では現在のリソース情報をリアルタイムでグラフ表示するリアルタイム性能グラフ表示機能、指定したリソース情報を指定した期間取得・収集する実績性能情報収集機能、そして性能情報に対して閾値を設定し性能監視を行う閾値監視機能があります。

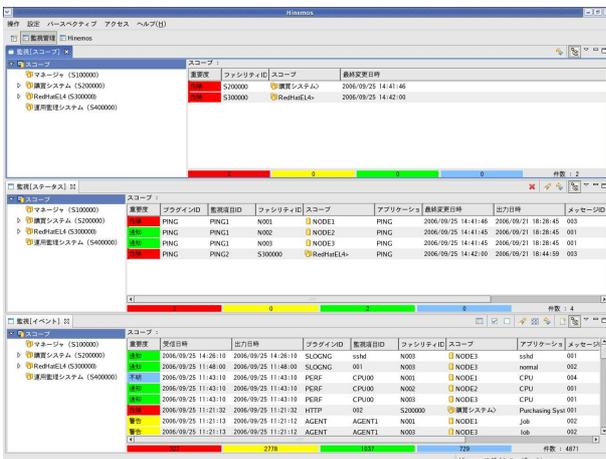
実績性能情報収集機能で蓄積された収集データは、グラフ表示やCSV形式でのファイル出力を行うことができます。



性能管理機能画面

監視管理機能

Hinemosでは、監視対象ノードのイベントログ情報やステータス情報などを、グループまたはノード単位で画面上で確認することが可能です。監視管理機能は監視対象ノードの状態を様々な方法で監視する機能を提供しています。



監視管理機能画面

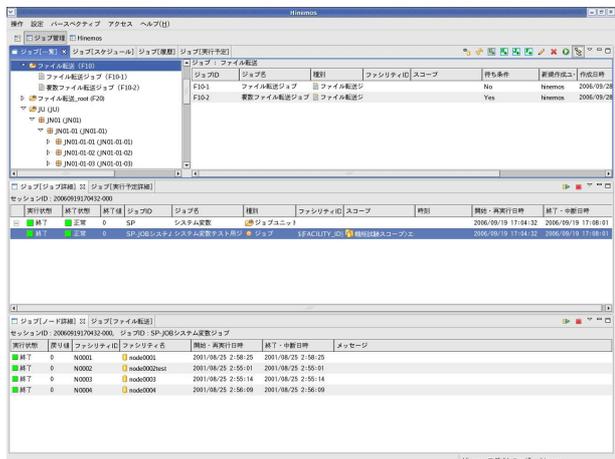
監視管理機能では、さらにカレンダーによる監視期間の指定や、イベントログなどの監視情報をグループ単位で切替表示することが可能です。また、障害対応が完了し表示不要となったログを表示から外したり、フィルタ条件を設定することにより、必要なイベントのみ表示させることが可能です。

監視方式として、syslog-ng監視、アプリケーションログ監視、ping監視、SNMP監視、SNMPトラップ監視、SQL監視、HTTP監視、プロセス監視、Hinemosエージェント監視といった複数の監視手段を提供しています。これらの監視を用途に応じて利用することで、目的とする監視を効率的に行うことが可能です。さらに、監視管理機能で取得したイベント情報をPDF形式で出力するレポート出力機能や、監視結果をメールで通知する機能も備えているため、これらを活用することにより関係者に対して迅速な周知を行い、状況を速やかに把握することができます。

ジョブ管理機能

Hinemosでは、ユーザが作成したジョブを複数ノードで連携させて定義・実行することが可能です。ジョブ管理機能では、ジョブ(ネット)の定義、任意ジョブ(ネット)からの開始、停止、中断、再開などを行うことが可能です。実行中のジョブの進捗状況や実行完了したジョブは一覧画面で確認することができます。

ジョブで実行するコマンドの引数指定や実効ユーザの指定、カレンダーによる稼働期間の指定が可能です。また、後続するジョブの起動判断を先行するジョブの処理結果の値(終了値)や時刻など複数の条件により指定することができます。これらの条件を用いることで、複数のジョブが終了した際に1つのジョブを開始するよう指定したり、逆に1つのジョブが終了した際に複数のジョブを開始するよう指定することもできます。さらにグループ内の少なくとも1ノードで開始が成功するまで順にグループに属するノードで実行(リトライ)できるなど、きめ細かなジョブの制御が可能です。



ジョブ管理機能画面